

平成29年度 くまもと・わくわく基金 冠基金 東京エレクトロン九州・マッチングギフト

事業報告

団体名： ことう文庫の将来を考える会

助成事業名： ことう文庫を「もっと身近に、みんなの居場所に」する事業

(1) 実施内容

• 活動内容の指針

- ①子どもの心に寄り添い、生きる力を育む本に出会う機会を増やす。
- ②ママ層、高齢者層、若者層を巻き込んでコミュニティづくりを進める
- ③地域をつなぐ役割を果たし、住民の居場所へ。



(1)実施内容

・選書

- 子どもの心に残る絵本や子どもたちの生きる糧となる良質の本を厳選

・開館

- 毎週土曜日10時～12時
- 長期休み中の特別開館

・広報

- 毎月20日に町内回覧板で開館日と活動内容をお知らせ。メール配信
- ホームページにお知らせとブログ掲載
- 小学校に内容の掲示
- 地域の夏祭りに参加

・協力

- 健軍6町内子ども会、健軍小学校



2017年11月20日

おはなし会でよんだ本

おはなし

ことう文庫

Book talkで紹介した本

～12月の開館日～

月日	内容・工作
12/ 2	おはなし・モザイク
12/ 9	おはなし・小物入れづくり
12/16	おはなし・犬そうじとお楽しみ

時間：10時～12時 ()内は持ってくるもの

HPできました!! <https://kotoubunko.jimdo.com/>

KBSX ことう文庫の将来を考える会 吉 野 09097938607 小田川 09055908929 藤 塚 09071569197
野 田 08017713137 長 岡 09072935874

この事業は、熊本市市民公益活動支援基金(くまもと・わびわく基金)及び同基金内に設置された「東筑エレクトロン九州・マッティングキョウト」による助成を受けています。

(1) 実施内容 H29年度の文庫の様子



開館時の様子



多世代交流事業



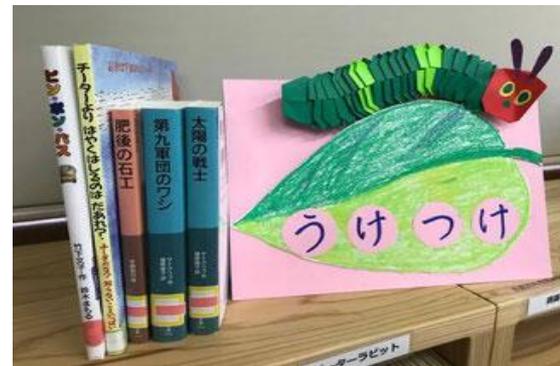
絵本の勉強会



年末の大掃除で中学生も参加

(2) 助成金の活用

- 広報費（回覧チラシ印刷代など）
- 文庫維持のための事務用品購入費用
- 体験や工作材料などの消耗品購入費用
- 特別開館のときの講師への報償費
- 通信費
など



(3) 成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)

- H29年度1年間の来館者数：こども 509人、大人 248人
- H29年度1年間の開館回数：40回 貸出冊数：942冊
- 地域の方々の声：「本屋で見つけられない良質な本が手に取れる」
- 子ども会を始め、自治会、更生保護女性会、などの地域団体の方々とのつながりができる
- あまり公民館につながない層の人も公民館に訪れる
- 回覧で案内した、新入庫本を狙っての大人の来館者
- 地域の方から毛糸・折紙・えんぴつ・ホチキスなど文房具の提供
- ホームページを見てワイヤレス掃除機の提供



たくさんの御来館、つながり、物品提供、ご協力
ありがとうございました。

(4) 今後の事業展開

- H30年度事業「ことう文庫の本がみんなの居場所です」
 - ・本の良さを発信していく
 - ・本のデータベースづくり
 - ・これまで行って来た体験や工作のデータベース化
- サポーター登録制度スタート（H30年4月から）
人材確保と無理のない運営体制づくり
- 開館日数増加を目指す
- 地域全体で子どもや若者の成長を見守る土壌づくり

